

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 30 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県筑後市

住 所

長浜2043-1

氏 名

株式会社大藪組

代表取締役社長小川海志郎

電話番号 0942-53-2151

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大藪組
事業場の所在地	福岡県筑後市長浜2043-1
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 62億円
③ 従業員数	77人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①工事現場で発生した産業廃棄物 ②分別 ③収集運搬(委託・自社) ④中間処理(委託) ⑤最終処分(再生材)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長→産業廃棄物責任者→工事部長→各工事現場担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	197 t	17 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	17 t	318 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	排出量	3 t	86 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	排出量	8 t	0 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排出量	201 t	5 t	
産業廃棄物の種類	その他 そのほかがれき類	その他 コンクリートがら	
排出量	117 t	1,514 t	
(これまでに実施した取組)			
廃棄物の分別を徹底し、資材を余剰に調達しないよう努めた。 資材はできる限り再生材を使用するよう務めた。 現場で発生した廃棄物は分別して中間処理業者に委託、適正処理を行い再生材として再利用できるよう務めた。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	177 t	15 t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	15 t	286 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	排出量	2 t	77 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	排出量	7 t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
排出量	180 t	4 t	
産業廃棄物の種類	その他 そのほかがれき類	その他 コンクリートがら	
排出量	105 t	1,362 t	
(今後実施する予定の取組)			
上記取組を引き続き徹底する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場に分別ボックスを設置し、ボックスには種類を掲示。 作業員が分別して廃棄できるよう工夫した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 そのほかがれき類	その他 コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 そのほかがれき類	その他 コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 其他がれき類	その他 コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 其他がれき類	その他 コンクリートがら
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 其他がれき類	その他 コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	その他 其他がれき類	その他 コンクリートがら
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	
①現状	全 処 理 委 託 量		197 t	17 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		165 t	10 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		197 t	17 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		紙くず	木くず	
	全 処 理 委 託 量		17 t	318 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		17 t	117 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	318 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	(これまでに実施した取組) 全量を再生利用業者へ処理委託し、再生材としての利用を図っている。				
			【目標】		
			産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全 処 理 委 託 量		177 t	15 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		177 t	15 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		177 t	15 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		紙くず	木くず	
	全 処 理 委 託 量		15 t	286 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		15 t	286 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		15 t	286 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生利用業者への処理委託を徹底し、 できる限り優良認定処理業者へ委託するよう努める。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

【前年度 ( 6年度) 実績】				
産業廃棄物の種類		繊維くず	金属くず	
①現状	全 処 理 委 託 量	3 t	86 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	86 t	
	再生利用業者への 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	3 t	86 t	
	認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラスくず等	がれき類
	全 処 理 委 託 量	8 t	0 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7 t	0 t	
	再生利用業者への 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	8 t	0 t	
	認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	(これまでに実施した取組) 全量を再生利用業者へ処理委託し、再生材としての利用を図っている。			
	【目標】			
	産業廃棄物の種類		繊維くず	金属くず
②計画	全 処 理 委 託 量	2 t	77 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 t	77 t	
	再生利用業者への 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2 t	77 t	
	認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		ガラスくず等	がれき類
	全 処 理 委 託 量	7 t	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7 t	t	
	再生利用業者への 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	7 t	t	
	認定熱回収業者への 認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t	
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生利用業者への処理委託を徹底し、 できる限り優良認定処理業者へ委託するよう努める。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 ( 6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類		管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
①現状	全 処 理 委 託 量	201	t	5	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	190	t	0	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	201	t	5	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	その他	その他がれき類	その他	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	117	t	1,514	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	80	t	24	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	117	t	1,514	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	(これまでに実施した取組) 全量を再生利用業者へ処理委託し、再生材としての利用を図っている。				
		【目標】			
		産業廃棄物の種類		管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物
②計画	全 処 理 委 託 量	180	t	4	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	180	t	4	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	180	t	4	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	その他	その他がれき類	その他	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	105	t	1,362	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	105	t	1,362	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	105	t	1,362	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き再生利用業者への処理委託を徹底し、 できる限り優良認定処理業者へ委託するよう努める。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】			
	産業廃棄物の種類 排出量	その他 アスコンがら 123 t	その他 廃石こうボード 114 t	
	産業廃棄物の種類 排出量	その他 水銀使用製品 0 t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	産業廃棄物の種類 排出量	t	t	
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別を徹底し、資材を余剰に調達しないよう努めた。 資材はできる限り再生材を使用するよう務めた。 現場で発生した廃棄物は分別して中間処理業者に委託、適正処理を行い 再生材として再利用できるよう務めた。			
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類 排出量	その他 アスコンがら 110 t	その他 廃石こうボード 102 t
産業廃棄物の種類 排出量		その他 水銀使用製品 t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
産業廃棄物の種類 排出量		t	t	
(今後実施する予定の取組) 上記取組を引き続き徹底する。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場に分別ボックスを設置し、ボックスには種類を掲示。 作業員が分別して廃棄できるよう工夫した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t

(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】		
産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 6年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度 ( 6 年度) 実績】		
産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
全 処 理 委 託 量	123 t	114 t
優良認定処理業者への 処理委託量の	t	84 t
再生利用業者への 処理委託量の	123 t	114 t
認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
全 処 理 委 託 量	0 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量の	0 t	t
再生利用業者への 処理委託量の	0 t	t
認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
(これまでに実施した取組) 全量を再生利用業者へ処理委託し、再生材としての利用を図っている。		

②計画

【目標】		
産業廃棄物の種類	その他 アスコンがら	その他 廃石こうボード
全 処 理 委 託 量	110 t	102 t
優良認定処理業者への 処理委託量の	110 t	102 t
再生利用業者への 処理委託量の	110 t	102 t
認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
産業廃棄物の種類	その他 水銀使用製品	
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処理委託量の	t	t
再生利用業者への 処理委託量の	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き再生利用業者への処理委託を徹底し、 できる限り優良認定処理業者へ委託するよう努める。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状

【前年度 ( 6年度) 実績】

産業廃棄物の種類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

処 理 委 託 量

産 業 廃 棄 物 の 種 類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

処 理 委 託 量

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

処 理 委 託 量

産 業 廃 棄 物 の 種 類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

処 理 委 託 量

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状

【前年度 ( 6年度) 実績】

産業廃棄物の種類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

産 業 廃 棄 物 の 種 類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

産 業 廃 棄 物 の 種 類

全 処 理 委 託 量

t

t

優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 量

t

t

再 生 利 用 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 へ の 量

t

t

認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 量

t

t

(今後実施する予定の取組)